

# デジタルフォントの特性を活かした 書体デザイン表現の研究

## 研究内容

デジタルフォントにおけるOpenType機能や、可変的な表現を可能にするバリエーション形式の機能を用いて、新しい書体表現の可能性を模索します。また、その制作プロセスにおいても効率化を測り、より柔軟に美しい書体表現を探究していきます。

## 地域・産学連携の可能性

バリエーションフォントを利用した書体の開発や地域の特色を表現し魅力をアピールするための書体開発ができます。

また企業と連携する事に関しては、企業ブランディングという視点において他社との差別化や独自のアイデンティティを「コーポレートフォント」として表現することや、サービスやUIにて使用するユーザビリティを考慮した特殊な機能を有するフォント開発などを行える可能性があります。

十口国日東  
目あいうお  
十口国日東止永



ライフデザイン学部 産業デザイン学科 タイプフェイスデザイン、パッケージデザイン、グラフィックデザイン

阿部 寛史 ABE Hirofumi

講師、学士（工学）



KeyWord

タイプフェイスデザイン、タイポグラフィ、パッケージデザイン、グラフィックデザイン